

住んでよかった 住んでみたい町



2005
(平成17年)

1

1月9日発行
最終号

広報

せいたん

題字は直原玉青氏

さよなら西淡町
そしてありがとう



南あわじ市誕生へ

二〇〇五年が幕開け、
一月十一日、西淡町は
新しく生まれ変わり
南あわじ市が誕生します。
西淡の魅力は
新市にも引き継がれ、
さらに輝きつづけること
でしょう。

今月の主な内容

新年のあいさつ
閉町記念特集
せい太くんフォトピックス
平成17年成人式式典
南あわじ市情報

(この用紙は再生紙を使用しております。)

2005年迎春



西淡町長
長江 和幸

新年あけましておめでと
うございます。
旧年中は行政各般に亘り
ご理解・ご協力をいただき
ましたことに厚く御礼申し
上げます。殊に、町として
は最後の年でもあり、下水
道事業をはじめ基盤整備に
全力を傾注してまいりまし
たが、その姿なり方向性が
形づくられつつあるのも、
皆様の地域を想う気持ち
があつての結果と敬意を表す
る次第です。ただ、昨年は

閉町にあたり
これまで町政に
ご理解・ご協力
ありがとうございました

- 町長 長江 和幸
- 助役 祖山 進司
- 収入役 濟藤 孝信
- 教育長 曾根 繁樹
- 職員 一同

台風の当たり年であり、町
全域において甚大なる被害
がありましたことは誠に残
念でなりません。今なお不
自由な生活を強いられてい
る方々をはじめ数多くの被
災者の皆様に、改めてお見
舞い申し上げる次第でござ
います。
いよいよ新しい年二〇〇
五年がスタートいたしました。
一月十一日には私達の
地域も新たに「南あわじ市」
として生まれ変わります。
これまで培われてきた郷土
愛が新市においても育まれ
ることを望むものです。
今時代は大きく変わろう
としています。少子高齢化・
財政難・地方分権といった
行政を取り巻く環境変化、
倒産・失業・凶悪犯罪・親
と子の関係といった社会全
体を取り巻く環境変化、そ
して昨年の災害多発にみら
れる地球環境自体の変化、
こうした事態に、私達はど
う対応すれば良いのでしょ
うか。単なる傍観者として
時代の流れを、腕を組んで
見つめていくだけで良いの
でしょうか。仮に「成熟社
会」というものが存在する
とするなら、個々人が幸せ
な生活を送れるとするなら、

全ての人が時代の流れを創
っていく権利と責任とがあ
つてのことだと思えます。
「南あわじ市」が素晴らし
い市になるかどうか、行政
のみならず新市民の意識に
かかわってくるものと考え
ます。幸せな生活を送るた
めには何をすべきか、何が
できるのか、時代の傍観者
としてではなく、時代の創
造者として、あらゆる人が
立場をこえて、新市民とし
ての新たな第一歩を踏み出
す年になることを願うもの
です。
最後に、今年一年の皆様
のご健勝ご多幸を祈念し、
私の念頭のごあいさつとき
せていただきます。





輝かしい新市へ向け



議会議長

川上 命



議会議長

川上 命

議会副議長

大住 逸朗

議会議員

菅 歳美

竹中 和夫

楠 和廣

松尾 巖

道上 義治

楠 直茂

岡本 務

畑野 良道

中嶋 良一

馬詰 修

三原賀代子

新年明けましておめでとうございます。平成十七年の年頭に当たり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

私は、昨年七月に西淡町議会の第三十七代の議長に就任させていただきました。三原郡四町は一月十一日に合併、南あわじ市となります。昭和三十二年七月に旧六か町村が合併してから今日まで、四十七年と六か月の歴史と伝統のある西淡町の幕を引く責任の重大さを

感じております。「住んでよかった 住んでみたい町 西淡」の長い歴史と伝統を作り上げてきた、住民の皆さんは勿論のこと多くの先輩の皆さんに、感謝と敬意を表します。

さて、平成十七年度は、我々町村によって歴史上忘れることの出来ない年度になるものと考えられます。申すまでもなく、市町村合併によってかなりの町村が消え去るかもわからないからであります。私も議会人は、自らの町村の存否にかかわる決断を迫られています。

我々四町の議員はその重大な決断をして、新しい南あわじ市に向かって、力強い第一歩を踏み出そうとしております。私はこの様な重大な決断を行う際には、やはり物事の原点に立ち返り、戦後新憲法に明記された「地方自治の本旨」とは、『地方分権の理念』とは、そしてこれまで築き上げてきたまちづくりは一体何だったのかを考え、未来にバトンタッチするには何が最良の選択であるかを考えることにしています。この様な考え方に立って、地方分

権推進のため、真の三位一体の改革の実現のための国と地方の戦いであり、要望事項の実現に向け、あらゆる方策を講じ、果敢に行動して参りたいと存じます。

地方議会の責任と役割は旧来考えられなかったほど大きくかつ重くなっています。住民の皆さんからは議員の政策の基本的あり方、これを補う良識と知性が問われていると思います。真の地方自治確立のため、少子高齢化など大きく変化する社会的潮流の中で、行政の効率化と行政能力の向上を図り、行財政基盤を充実強化することによって持続可能な都市づくりや多様化・高度化する住民ニーズに対応できる体制作りが求められております。それは、議員一人ひとりが良識と理性の上に立った議会活動、適切な議会の運営に努力をしていかなければなりません。

今後の住民の皆さんのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、皆さんのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます、新春のご挨拶いたします。

西淡町閉町記念式典

南あわじ市誕生を控え、町の歴史をしのぐ

一月十一日の南あわじ市誕生により、四十七年余りの歴史を閉じる「西淡町」の閉町記念式典が十二月十八日、西淡町中央公民館で開催。関係者や住民の方々約三百人が出席し、栄光の西淡町を振り返り別れを惜しみました。

式典では、御原中・辰美中の生徒が町民の誓いの朗読したあと、長江町長が「閉町式は単に過去を振り返り返すだけのものではなく、郷土の更なる新たなスタートラインであります」とあいさつ。続いて、町政の発展に貢献された方々に功労者感謝状を贈り功績をたたえました。

また、町発足から現在までのあゆみをスライドショーで振り返り、最後に長江町長と川上議長が町旗を降納しました。



▲町民の誓いを朗読する中学校生徒

町民の誓い

白砂青松の慶野松原と鳴門のうづ潮に代表される美しい自然に恵まれた西淡町は、歴史的文化遗产と伝統産業に象徴される素晴らしい町です。

わたくしたちは、この町に誇りをもち、生涯学習にはげみ、未来への夢をえがき、ここに町民一人ひとりの誓いします。

- 1 恵まれた自然をまもり、美しい町をつくります。
- 1 共に生きる、幸せの輪を広げる町をつくります。
- 1 心身ともに健やかで、はつらつとした町をつくります。
- 1 若い力を伸ばし、明日にはばたく町をつくります。
- 1 変化に挑戦し、たくましさでエネルギーに満ちた町をつくります。

制定 昭和62年10月1日



▲長江町長による式辞

